

## 本 会 記 事

### 平成 25 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録

日 時：平成 25 年 9 月 10 日（火）15 時 00 分～16 時 00 分

場 所：東京大学弥生講堂 アネックス

出席者：大熊幹章会長，磯貝 彰副会長，三輪睿太郎副会長，河鱈実之/立石 亮（園芸），酒井敦章（砂防），矢部和弘（シス農），窪野高德（樹医），中嶋正敏（植調），大貫靖浩（森立），岩田洋住（育種），北村義明（応糖科），石川幸男（応動昆（代）），加藤 茂（海水），山田隆一（国地開）勝間 進（蚕糸），嶺田拓也（雑草），金井克晃（獣医），根岸寛光（植病），小島克己（森林），濱田奈保子/大久保範聡（水産），安永円理子（生環），石川尚人（草地），大黒俊哉（造園），山内啓太郎（畜産），大塚重人（土肥），坂本一憲（土微），真田篤史（熱農），横山 仁（気象），佐藤雄一郎（農化），仲下英雄（農薬），杉浦幸二（繁殖），中嶋康博（フード），相馬智明（木材加工/木質（代）），中村典裕（農情），吉田修一郎（農村工），重岡 徹（農計），黒住圭子（事務担当）

欠席者：福山泰治（砂防），土田志朗（実農），吉本 敦（森計），小川 博（家禽），松村一膳（砂丘），鴨下顕彦（作物），高橋新平（芝草），内田和幸（獣医），有江 力（植病），益守眞也（森林），東海 正（水工），入江彰昭（造園），小澤壯行（畜産），野村こう（動遺育），白戸康人（土肥），迫田登稔（経営），荒幡克己（経済），渡邊秀典（農化），高垣美智子（農作），大倉利明（ペドロ），五十嵐圭日子（木材），牧野義雄（農機），川越義則（農施），中嶋 勇（農村工），山本伸幸（林経）

議長：大熊会長

議事：

1. 平成 25 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について
2. 平成 25 年度（第 84 回）日本農学大会の報告
3. 平成 25 年度日本農学会シンポジウムの準備状況について
4. 平成 26 年度日本農学賞受賞候補者の推薦および平成 26 年度日本農学会評議員会について
5. 平成 26 年度常任委員担当学会について
6. 平成 26 年度シンポジウムテーマについて
7. その他

配布資料：

1. 平成 25 年度第 1 回運営委員会議事録（案）【資料 1】
2. 平成 25 年度第 84 回日本農学大会概要報告 【資料 2】

3. 平成 25 年度日本農学会シンポジウムプログラム（案）【資料 3】
4. 平成 25 年度日本農学会シンポジウム案内（配布用）【資料 4】
5. 平成 25 年度日本農学会シンポジウムポスター配布内訳【資料 5】
6. 平成 25 年度日本農学会シンポジウム成果概要出版目次【資料 6】
7. 平成 24 年度シンポジウム成果概要出版「東日本大震災からの農林水産業と地域の復興」チラシ【資料 7】
8. 平成 26 年度日本農学賞推薦依頼・推薦書類一式【資料 8-1, 8-2】
9. 平成 26 年度評議員会開催案内【資料 9】
10. 平成 26 年度常任委員割当て表【資料 10】
11. 日本農学会評議員・運営委員一覧【資料 11】
12. 平成 26 年度シンポジウムテーマ【資料 12】
13. 農学研究に関する要望書【資料 13】
14. 平成 25 年度シンポジウムポスター

議事 1. 平成 25 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事 2. 平成 25 年度（第 84 回）日本農学大会の報告

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。

議事 3. 平成 25 年度日本農学会シンポジウムの準備状況について

大貫企画担当常任委員より資料に基づき準備状況，広報活動および成果概書について説明があり，了承された。

10 月 5 日のシンポジウムへの参加の願いがあった。

議事 4. 平成 26 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦および平成 26 年度日本農学会評議員会について

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。推薦依頼はすでに加盟学協会にはメールにて送信済み。推薦締切は 11 月 28 日。ぜひ、積極的に候補者の推薦をお願いしたい。評議員会は来年 1 月 24 日開催ですので予定しておいていただきたい。

読売農学賞についての質問があり，以前に今年の 50 周年を過ぎたら見直したいとの申し出があったが今現在読売新聞社からは連絡がなく，日本農学会としては従来通り進

めて行く旨はお知らせした。

読売農学賞については静観し、日本農学賞として淡々と進めていくと会長から報告があった。

#### 議事 5. 平成 26 年度常任委員担当学会について

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき常任委員の担当について説明があり、来年度の常任委員が確認された。

また、常任委員になる年に運営委員を交代される学会もあるが、スムーズな運営のために今までの運営委員が引き続き受けていただくか、早めに交代いただきたいとのお願いがあった。

#### 議事 6. 平成 26 年度シンポジウムテーマについて

大塚企画担当常任委員より資料に基づき、育種学会から提案されたテーマに若干の訂正を加え「未来を変える農学研究の新技术」(仮)とし、同テーマに基づき、いくつかのキーワードをご提案いただいて、講演内容を検討していきたい旨報告があった。キーワードに沿った講演内容の募集については、各学協会には改めてメールでお願いするので協力いただきたい。

なお、シンポジウムの講演内容の決定までの今後の流れについて質問があり、大塚企画担当常任委員より、今回はキーワードに沿った講演内容について公募するかたちで進め、多くの学会から推薦された内容が多岐にわたるようなら、常任委員会で検討して整理し、それをもとに企画委員

会を立ち上げる旨説明があった。

その他

#### 1) 「農学研究に係る要望書」について

岩田庶務担当常任委員より要望書が読みあげられ、提出した旨報告があった。

改めて大熊会長より要望書提出までにご協力いただいたことにお礼があった。

日本農学会は農学分野の連合体として農学の重要性を発信する役目があり、今回の要望書も意義あることとお話があった。

運営委員より、要望書を提出した事を広く広報すべきではないかとの提案があった。

三輪先生より要望書提出までの経緯について説明があり、今後は日本農学会のホームページで広報していきたい旨報告があった。

#### 2) 「日本農学 80 年史」について

全国農学系図書館と加盟学協会には寄贈済み、残りは独法や県の農業研究機関への寄贈を考えている。

#### 3) 評議員・運営委員一覧について

最新のものになっているが、名前、所属等に訂正・変更があった場合は事務局の方へ連絡してほしい。また、11月に来年度の評議員・運営委員について調査を行う旨お願いがあった。